

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		文化財保護事業		担当課	生涯学習課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	昭和46年度～
	施策	生涯学習の推進		種別	法定事務
	基本事業	文化財を愛する心の育成		市民協働	委託事業
予算科目コード		01-100402-02 単独	根拠法令・条例等	文化財保護法 守谷市文化財保護条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） ・文化財保護審議会の答申に基づき，市内の文化財（未指定含む）に関する調査・評価を行い，特に価値の高いものについては指定（市，県）や記録保存等の措置を取る。 ・指定史跡や天然記念物の維持管理を行う。 ・埋蔵文化財の所在が見込まれる土地で土木工事等が行われる場合には，事前に試掘調査を行う。
文化財保護法第190条に基づき，昭和52年に守谷市文化財保護条例を制定し，先人からの優れた遺産である文化財を適切に保護・活用し，未来に伝えていくこととした。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市内に存する有形無形の文化財を保護し，未来に伝えていくとともに，文化財愛護や郷土理解の心を育む。	
（参考）基本事業の目指す姿	
地域の貴重な文化財を後世に継承し，活用する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
市民（特に若者）に郷土の歴史・文化を広める必要がある。 市指定文化財及び史跡を保護・保存していく必要がある。	随時：試掘・発掘調査 5月 文化財保護審議会 7月 文化財保護審議員自主自主研修会（コロナのため中止） 7月～10月 廿三夜尊エノキ樹勢回復業務（全2回） 11月 書面による中間報告 3月 文化財保護審議会
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
歴史散歩等で歴史的文化財のあるお寺等を回り，郷土の歴史の資料を配布し啓発する。 守谷城址を，隣接する「守谷野鳥のみち」と合わせて貴重な地域資源としてPRする。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☒ 削減	市制20周年記念誌作成分の予算が削減されるため。

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度を取組（評価、課題への対応）
宅地造成等に伴う埋蔵文化財試掘調査を行った。 歴史リーフレット「守谷の平将門伝説」を増刷した。 例年、文化財保護強化週間（11月1日から7日）に実施する「もりや歴史さんぽ」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止した。 市指定文化財である「守谷城址」内の土地所有者からの申出により、土地（面積：約500㎡）の買取を予定していたが、所有者の意向により買取ではなく、借地契約となった。	市制施行20周年記念事業として、守谷城址の歴史や魅力を発信するとともに、守谷市最大の歴史遺産として、守谷城址周辺を含めた自然環境を将来にわたって残していきたいと願い、イラスト付き守谷城址案内看板を設置するとともに、記念誌「守谷城と下総相馬氏」「こんなにすごい守谷の自然」を発行した。 文化財説明板のうち、特に老朽化したものについて修繕を行った。 宅地造成等に伴う埋蔵文化財試掘調査を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
市内の指定文化財件数（有形）（件）	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	21.00
市内の指定文化財件数（無形）（件）	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	指定文化財所有者及び管理者の協力により維持・保存された。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☒ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	市観光協会との連携により、貴重な地域資源である古文書を適切に保存し、地域の誇りを後世に伝えるため、解説作業やデジタルデータ化を検討するなど保存・活用に取り組む。 文化財や郷土資料をデジタル化し市民に公開したり、子どもたちがタブレットを活用して資料に触れることができる「デジタルミュージアム」構築の研究・検討を進める。					

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	572	709	3,958	1,363	5,000
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	572	709	3,958	1,363	5,000
正職員人工数（時間数）		134.00	975.00	811.00	0.00	0.00
正職員人件費		550	3,947	3,138	0	0
トータルコスト		1,122	4,656	7,096	1,363	5,000